

LMcorsa レースレポート：SUPER GT 第3戦決勝・オートポリス

LM corsa Super GT, Racing Reports 2017 Vol.5-2

Round 3 : AUTOPOLIS INTERNATIONAL RACING COURSE. 2017/05/21

スターティンググリッド：21番手 決勝結果：12位（60周）

天候：晴れ、コース状況：ドライ

決勝

AUTOBACS SUPER GT シリーズ第3戦の決勝レースが、オートポリスで5月21日（日）に開催された。昨年は熊本地震の影響により中止されたこともあり、2年振りとなった今年は1万8200人も観衆がサーキットに詰めかけた。

天気は前日の予選と同じく朝から夏のような暑さで、10時30分から行われたピットウォークでは多くのファンがLMcorsaのピットを訪れ、飯田章と吉本大樹の両ドライバーはファンの声援に笑顔で応えていた。

そして11時50分からレースへ向けてのスタート進行が開始され、12時30分からのウォームアップ走行で15番手タイムをマーク。決勝レースへの最終チェックを行ったチームは、前戦に引き続き「SYNTIUM LMcorsa RC F GT3」をポイント圏内フィニッシュへ持ち込むため気合いが入る。



レースに向けてグリッドに整列した各マシンは、大分県警の白バイとパトカーに先導されパレードラップを行い、その後フォーメーションラップとなり、決勝スタートを迎える。

チームは21番手グリッドからのスタート、1台でも多くを抜いて上位進出を目指していく。

今回スタートドライバーを担当したのは飯田で、ポジションアップのための追い上げを開始したときに最終コーナーでアクシデントが発生。これによりセーフティカーが導入されてしまい、16番手で周回を重ねていくことになってしまう。



そして12周目にレースは再開。オートポリスは抜きにくいこともあり、ポジションキープとなってしまうが、20周目あたりからピットストップに入るチームが出てきたこともありポジションはアップ。

27周目に12番手で吉本にバトンをタッチすることとなる。

ドライブを引き継いだ吉本はコンスタントにタイムを刻んでいくが、背後から追い上げてくるGT500クラスの争いに巻き込まれてしまい、ポジションアップのタイミングが上手く掴めずに周回が進む。

結果、ポイント圏内に一步届かない 12 位でフィニッシュとなった。チームはこの結果に満足しておらず、今後のレースでの巻き返しを誓っていた。

次戦 SUPER GT 第 4 戦は約 2 カ月のインターバルを開けて 7 月 22 日（土）、23 日（日）にスポーツランド SUGO で開催される。

その間に合同テストとタイヤテストで計 4 回のテストが予定されているため、チームは戦闘力アップを図るための努力を惜しまないで挑んでいく。



ドライバー／飯田章

スタートして数周でセーフティカーが入ってしまったため、思うようにポジションアップができませんでした。あれがなければ、もう 1、2 台は抜けていたと思います。その後も遅いクルマに引っかかってしまい、予定通りにピットインして吉本選手に引き継ぎました。クルマの調子は悪くないので、今後のレースでしっかりと結果を出せるように頑張っていきたいと思います。

ドライバー／吉本大樹

ポイント圏内に入れるように頑張って走ったのですが、一步届かずに残念でした。悪いタイミングで GT500 クラスのマシンが来たりしてしまったこともあります。でも決勝では、予選の一発タイムとは違い、上位陣とも勝負できるタイムでコンスタントに走れるクルマだということを再確認できました。この後、SUGO のレースまでにテストが続きますが、試してみたいメニューもありますので、マシンとタイヤをしっかりと仕上げていきたいですね。

監督／小藤純一

レースではタイヤの持ちで心配があったため、飯田選手は予定通りにピットインしてもらいました。吉本選手の方が走行距離は長くなってしまい、最後はタイヤが厳しくなってポイント獲得に一步届きませんでした。でも、次戦 SUGO までに合同テストとタイヤテストで計 4 回のテストがありますので、そこでタイヤ開発を進めていき、SUGO で結果を出せるように頑張っていきたいと思います。

